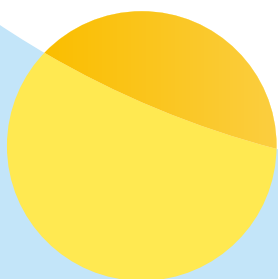


オプチューン[®]で治療中の患者さまへ

頭皮ケアと アレイの貼り方・はがし方 ガイド



Contents

1	はじめに	3
2	頭皮ケアの基本	4
3	頭皮の感染を防ぐための工夫	6
4	アレイを貼る前の頭皮の準備	7
5	アレイの貼り方	8
6	アレイのはがし方	10
7	アレイのずらし方	12
8	アレイの交換頻度	13
9	頭皮トラブルが起きたときの対処法	14

※アレイ：INEトランスデューサーアレイ

*本冊子に記載されている情報は、担当医師の指導に代わるものではありません。

1 はじめに

オプチューンでの治療を長く続けられるよう、頭皮は適切にケアしてください。

オプチューンでの治療の主な副作用は、アレイ貼付部位の皮膚障害で、臨床試験では約半数の患者さまに皮膚症状が認められました。しかし、その症状はいずれも軽度から中等度で、局所的な処置、もしくは一時的に治療を中断することで対処できることが報告されています。

頭皮を適切にケアして皮膚障害がコントロールできれば、オプチューンでの治療を中断することなく続けられます。頭皮ケアは、患者さまもしくは治療協力者の方が行う日常のスキンケアと、担当医師から処方された軟こうなどの外用剤による治療が中心となります。

この冊子では、頭皮トラブルの発生リスクをおさえつつ、オプチューンの使用時間をできるだけ長くするための頭皮ケアの方法や予防対策についてご紹介します。また、ノボキア株式会社のホームページではこの冊子の内容を動画でご覧いただけます。

もしも、頭皮に赤み、炎症の悪化などの異常がみられた場合には、患部の写真を撮影するなど経過を記録し、必ず担当医師の指導を受けてください。



この冊子の内容を動画でご紹介しています。
詳しくはノボキア株式会社のホームページ
(https://www.optune.jp/for_patients/library/) をご参照ください。



2 頭皮ケアの基本

頭皮トラブルを少なくするには、頭皮への強い^{まさつ}摩擦や刺激を避け、清潔に保つことが重要です。

- 頭部に触れるときは必ず手を洗ってください。
- 頭皮に粘着剤が残っている場合は、ベビーオイル等を用いてやさしく取り除いてください。



- 頭皮を洗うときは、低刺激性シャンプーの使用をおすすめします。
- 頭皮を洗った後は、タオルでこすらず、タオルをやさしく頭皮に押し付けるようにして水分を取り、しっかり乾かしてください。

- 医師から処方された軟こうは、頭皮に塗布してから少なくとも15分待ち、その後、やさしく拭き取ってください。



- 頭皮に炎症がある場合、患部には触らないようにし、必ず担当医師の指導を受けてください [14ページ参照]。
- アレイを貼らずに治療を一時休止することがあります。どれぐらいの休止時間（期間）にするかは患者さまごとに異なりますので、担当医師にお尋ねください。
- 湿気・熱がこもらないように頭部の通気性をよくしてください。



3

頭皮の感染を防ぐための工夫

頭皮の感染リスクを最小限に抑えるため、アレイは個々に滅菌包装されています。頭皮の感染を防ぐために、さらに下記のことを徹底してください。

- アレイ交換時には頭皮を洗い、頭皮全体を観察し、頭皮トラブルの有無を確認してください。
- 電動シェーバーは頭皮専用として使用してください。



- 電動シェーバーは、付属されている説明書に従って手入れしたものを使用してください。
- アレイは週に2～3回交換してください。



*本冊子に記載されている情報は、担当医師の指導に代わるものではありません。

4

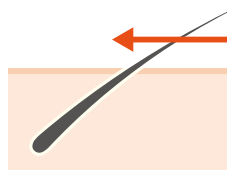
アレイを貼る前の頭皮の準備

頭皮にアレイを密着させるため、アレイ貼付前は頭髪をていねいに剃り、頭皮を適切な状態に整えてください。

- 電動シェーバーを準備してください。

- ✓ 頭皮専用として使用してください。
- ✓ 頭髪が生えている向きに逆らうように動かしてください。
- ✓ 頭皮に強く当てすぎると、頭皮を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

電動シェーバーを
動かす方向



- 頭皮を洗うときは、低刺激性シャンプーの使用をおすすめします。

- アレイを貼る前には、必ず頭皮全体を消毒用アルコールを浸したガーゼ、または温タオルで拭いて頭皮の余分な油分を取り除いてください。



- 新しいアレイは、頭皮が完全に乾いてから貼ってください。

アレイの貼り方を動画で
ご紹介しています。



5

アレイの貼り方

治療を適切に行うため、アレイは正しく貼ってください。

- アレイの剥離紙^{はくりし}をはがす前にレイアウトマップをよく見て、頭皮にアレイを仮置きし、貼る位置を決めます。



- アレイの剥離紙をはがし、セラミックディスクを覆っているジェル部分（ハイドロゲル）には触れないように、粘着テープ部分やケーブルが出ている部分を持ちます。



- アレイを引っ張ったり伸ばしたりしないように、頭皮に貼っていきます。

アレイの貼り方を動画で
ご紹介しています。



*本冊子に記載されている情報は、担当医師の指導に代わるものではありません。

- セラミックディスクの部分だけを頭皮に軽く押し当て、仮置きします。



- 4枚とも仮置きした後、セラミックディスクが頭皮に密着し、固定されるように粘着テープ部分を貼っていきます。セラミックディスクと頭皮の間にアレイの粘着テープ部分が入り込んでいないことを確認してください。
- 隣接するアレイが近い場合、セラミックディスクの間隔が指1本分程度空くように貼ってください。



- 必要に応じてサージカルテープを活用したり、アレイの上からネットをかぶせたりしてセラミックディスクを密着させてください。



6

アレイのはがし方

頭皮トラブルを防ぐために、アレイはゆっくり、ていねいにはがしてください。

- アレイをはがすときには、1枚につき1分間を目安にゆっくりとはがし、頭皮への刺激をできるだけ少なくします。

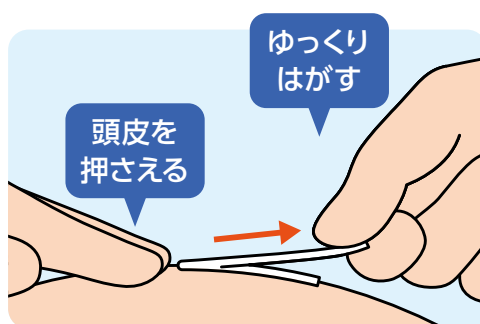
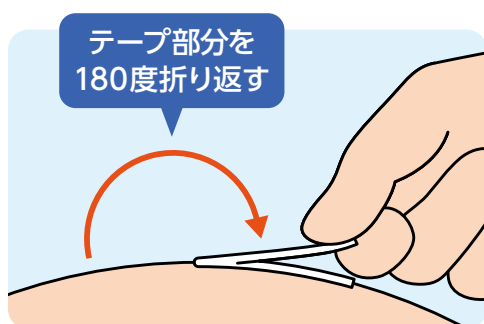


- はがれにくいときは無理にはがしたりこすったりせず、ケーブルをすべてはずしてからアレイをシャワーでぬらしたり、温タオルで湿らせたり、ベビーオイル等をなじませたりしながらやさしくはがしてください。
- 頭皮に粘着剤が残っている場合は、ベビーオイル等を用いてやさしく取り除いてください。



*本冊子に記載されている情報は、担当医師の指導に代わるものではありません。

- 粘着テープ部分をはがすときは、頭皮を指でやさしく押さえながら粘着テープ部分を180度折り返すようにしてゆっくりとはがしてください。



- アレイをはがしたときには頭皮全体を観察し、頭皮トラブルの有無を確認してください。
- 頭皮トラブルを見つけた場合は、患部の写真を撮影するなどして経過を記録し、必ず担当医師の指導を受けてください [\[14ページ参照\]](#)。

アレイの交換方法を動画で
ご紹介しています。

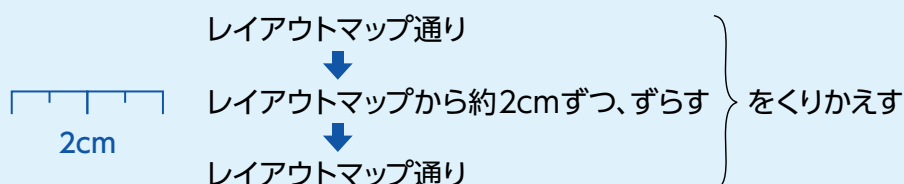


7

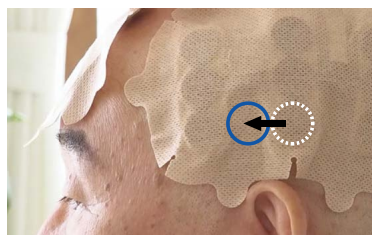
アレイのずらし方

アレイは交換するたびに、位置を約2cmずつ、ずらして貼ってください。

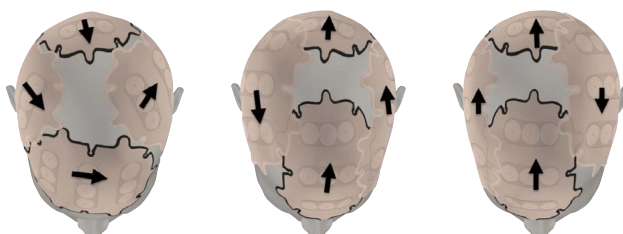
- アレイは交換するたびに、セラミックディスクの位置を約2cmずつ（セラミックディスク1個分の幅）、ずらして貼ってください。



- アレイは前後（黒）・左右（白）のペアで作用します。そのため、アレイはペアで同じ幅だけずらすようにしてください。
- 頭皮の表面に、前回貼っていたセラミックディスクの痕^{あと}が残っていれば、それが次のアレイを貼る際の目印になります。



アレイのずらし方の例



*本冊子に記載されている情報は、担当医師の指導に代わるものではありません。

8

アレイの交換頻度

アレイは週に2～3回交換してください。

● 次のような場合には、頻回のアレイ交換をおすすめします。

- ✓ 気温が高かったり、運動などで発汗した場合
- ✓ セラミックディスクを覆っているジェル部分（ハイドロゲル）がとけた場合
- ✓ 頭髮の伸びが早く、アレイが浮いた場合



● アレイは使い捨て（ディスポーザブル）製品です。絶対に再使用しないでください。

※1ヵ月に保険適用の範囲内で処方できるアレイの数は40枚（白20枚・黒20枚）です。アレイの残数にご注意ください。



*本冊子に記載されている情報は、担当医師の指導に代わるものではありません。

9

頭皮トラブルが起きたときの 対処法

頭皮に赤み、炎症の悪化などの異常がみられた場合には、患部の写真を撮影するなどして経過を記録し、必ず担当医師の指導を受けてください。

- 頭皮に炎症・かぶれ・かゆみ、その他さまざまな症状が発生した場合は、必ず担当医師に相談してください。

- 炎症が悪化し、すいほう水疱やかいよう潰瘍になった場合は、必ず担当医師の指導を受けてください。



- 潰瘍になった部分にはセラミックディスクが当たらないようにアレイを貼ってください。
- 患部に処方された軟こうなどを塗布して頭皮の治療を行いながらオプチューンでの治療が続けられます。ただし、頭皮の状態によってはアレイを貼らずに治療を一時休止することもあります。

NovoTTF-100Aシステム（ブランド名：オプチューン[®]）は膠芽腫治療を目的とした医療機器です。
オプチューン[®]はノボキアゲーエムベーハーの登録商標です。

novocure[®]

www.optune.jp

